

平成26年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1001

施設名	伊丹市立文化会館（いたみホール）		
施設の設置目的	市民の芸術、文化活動を推進し、文化の発展を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	220, 000	今年度の実績値 205, 135

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H22	H23	H24	H25	H26 (上期)	H26 (通期)
	来館者数（人）	229, 671	223, 985	216, 460	223, 698	202, 832	88, 755	205, 135
	貸し室稼働率（％）	47	49	47	49	49	44	49
	延べ事業開催回数(回)	35	32	33	32	33	15	35
	延べ事業参加者数(人)	21, 999	39, 606	34, 299	42, 786	39, 551	21, 544	52, 534

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成26年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	160, 212	指定管理委託料	160, 212
	事業収入(公演収入等)	34, 540	事業収入(公演収入等)	29, 375
	利用料金	46, 289	利用料金	46, 562
	合計	241, 041	合計	236, 149
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	53, 410	人件費	49, 381
	維持管理経費	146, 609	維持管理経費	146, 474
	事業等経費	41, 022	事業等経費	39, 078
	合計	241, 041	合計	234, 933
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	1, 216

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入	2, 476	1, 954	1, 789	1, 755	1, 662	151
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	168, 262	155, 335	156, 406	187, 886	176, 084	258, 662
	(内、指定管理委託料)	161, 799	151, 672	147, 432	147, 772	154, 058	160, 212
	実質経費（歳出－歳入）	165, 786	153, 381	154, 617	186, 131	174, 422	258, 511

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的 to 実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者の作業及び報告書を確認し、適宜指示を出している。備品台帳を独自に作成し、適切に管理している。修繕は修繕履歴書及び修繕計画書を作成し、内容や方法を工夫しながら実施。節電に努め、エントランスホールの照明は天候や日没にあわせて段階的に点灯。	A	仕様書に基づき、適正に業務が実施されている。また、備品についても適切な管理がなされている。節電等についても社会事情や環境に配慮し、実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	一定の外部研修は職員全員が既に受けている。貸館対応手順や機材の取扱方法など、OJTを日々行い、音響、映像機器に関する技術研修も実施。	B	仕様書に基づき、適正に業務が実施されている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡網を作成し、年2回消防避難訓練を行っている。	B	仕様書に基づき、適正に業務が実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	事業実施時に事業並びに施設管理に関するアンケートを行い、運営に反映させている。ホームページの解析を毎月実施。	A	利用者の意見を取り入れながら事業運営を行っているが、アンケートの集約数を増加させる取り組みを考えていただきたい。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	施設の設立目的を達成するため、創意工夫を凝らした計画事業と新たな共催公演、ワンコインコンサートを実施。アンケートの満足度も高い。	B	仕様書に基づき、適正に業務が実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	ホームページ、メールマガジン、デジタルサイネージ、エフエムいっぴ、広報伊丹、財団情報紙、新聞、雑誌等、多様な媒体を活用し情報提供を行っている。H26年7月にホームページをリニューアルし、見やすくなったと好評を得た。	B	様々な媒体を利用して、事業の情報提供や施設の知名度向上に取り組んでいるが、新たな手法を思案していただきたい。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収支計画に基づき、適正な運営及び経理処理を行っている。	B	収支計画に基づき適正に取り組まれている。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	利用状況、事業運営状況とも概ね近年と同様の状況であるが、芸術文化の拠点施設として、より多くの来館、参加を得られるような事業展開にあたっていただきたい。施設、設備の管理については指定管理者としてその状況把握とともに、老朽化に対応した修繕計画を作成する等、適切な維持管理に努めていただきたい。
総合評価	
B	

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。 → 「非常にきれい」 45% 「きれい」 43%	・今後も美観維持に努める。
	・職員の接客態度はいかがですか。 → 「たいへん満足」 35% 「満足」 42%	・たいへん満足と言っていただけの方を増やす接客態度を目指す。
回答者数		
3,288	・今回の公演の満足度はいかがですか。 → 「たいへん満足」 57% 「満足」 30%	・たいへん満足と言っていただけの方を増やす公演を目指す。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置